

令和4年度特別養護老人ホームふくしあ事業実績報告書

第1 総括

令和4年度は、ご利用者の多様化と複雑化したニーズに対応することと、人権を尊重した生活環境が保たれるように、個人を尊重したユニットケアに基づき個人が有する保持・能力が発揮されて、日常生活の食事・入浴・排泄・健康保持を支援しての自立援助及び生活全般の介護サービスを進めました。

また、施設運営においては、特にふくしあの立地条件下の過疎地での施設人材確保と定着は、大変に厳しい状況となり充足された職員配置とはできないことから、止むを得ず7月1日には3ユニットの30名へ定員減員とした運営となりました。

なお、令和4年度中も各所でクラスターが発生した新型コロナウイルス感染症対策では、近隣の感染状況を踏まえてリスク軽減を図った各行事の企画・運営を行い、ご利用者に楽しみと潤いが持てるよう施設生活環境の提供に努めました。

特に、施設営繕においては、住環境の空調設備（エアコン）の経年劣化による故障が顕著であり、多額の修理費が計上されました。また、物価高の日本経済により、電気料金等の大幅な増額では多額の費用負担となり、経営が圧迫化されて、一層に大きな赤字の運営となりました。このことから大乘会の高齢施設のあり方・見直しを早急に図ることを推進しました。

つきましては、令和4年度の主要な実績項目は次のとおりです。

1. 新型コロナウイルス感染症対策は、日常からご利用者の健康管理の徹底を図り、ご家族、職員のご協力とご理解を受けた感染予防を講じました。
2. ご利用者一人ひとりの価値観や生活習慣・プライバシーに配慮した、人権を尊重した個別ケアの実践を推進しました。
3. ご利用者が毎日安全・安心して生活ができるように、職員のリスクマネジメント意識の向上を図った介護に努めました。
4. ご利用者の希望や意志を尊重した、自分らしく自立した生活が送れるように、介護サービスを提供しました。
5. ご利用者自身による選択を尊重すると共に、ご家族の意向も汲んだ適切なケアプランを作成し、一人ひとりの心身に見合った介護サービスを提供しました。
6. 職員は、介護技術の向上に励むと共に、オンライン研修会等の参加により総合的な資質の向上に努めました。
7. 厳しい30名定員の経営状況を踏まえて、各種コストの節約と節減に努めると共に、建物・設備の修繕について適切に保全修理を行いました。
8. 職員は、人権を擁護する立場から法令や法人の諸規定を遵守すると共に、コンプライアンス意識の向上に努めました。
9. ふくしあの運営は、職員の人員配置が充足されないことから、令和4年7月1日において止む無く定員30名へ減員を行い、法人高齢者事業の見直しを図ることは、大乘会と南富良野町が協議を行う改革推進協議会を設置しました。
10. 地域に密着した施設作りでは、新型コロナウイルス感染症のため、開放的な地域住民との交流は出来なく、多様な方法で情報を発信しました。

11. 多様な人材確保を活用することでは、外国人の活用を検討しましたが、金山地区での生活・対応と職員対応上では活用はできませんでした。

なお、法人で就労している特定技能者等の活用については、職員へ情報の発信に努めました。

第2 ふくしあ入所者の状況

令和5年3月31日

1. 要介護度別状況と費用負担分類

要介護度	男性	女性	計	構成比	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	計
要介護1	0	1	1	3.6%	0	0	1	0	1
要介護2	0	1	1	3.6%	0	0	1	0	1
要介護3	0	1	1	3.6%	0	0	0	1	1
要介護4	3	12	15	53.6%	1	5	7	2	15
要介護5	2	8	10	35.7%	0	1	7	2	10
合計	5	23	28	100.0%	1	6	16	5	28

2. 保険者(出身地)の状況

市町村	男性	女性	計
富良野市	1	10	11
南富良野町	4	7	11
上富良野町	0	0	0
中富良野町	0	0	0
占冠村	0	4	4
旭川市	0	1	1
その他	0	1	1
合計	5	23	28

3. 在所期間の状況

期間	計
6ヶ月未満	3
6ヶ月以上1年未満	4
1年以上2年未満	1
2年以上3年未満	4
3年以上4年未満	4
4年以上5年未満	2
5年以上	10
合計	28

4. 年齢別構成

年齢階層	男性	女性	計	構成比	備考
65～69歳	0	0	0	0.0%	平均年齢…89歳3ヵ月 最高年齢…男性：93歳10ヵ月 女性：103歳3ヵ月 最若年齢…男性：81歳3ヵ月 女性：72歳11ヵ月
70～74歳	0	1	1	3.6%	
75～79歳	0	3	3	10.7%	
80～84歳	1	2	3	10.7%	
85～89歳	1	4	5	17.9%	
90～94歳	3	4	7	25.0%	
95歳以上	0	9	9	32.1%	
合計	5	23	28	100.0%	

5. 身体状況

区分	男性	女性	計	構成比
自立歩行	1	0	1	3.6%

歩行器歩行	0	1	1	3.6%
手引き歩行	0	1	1	3.6%
車椅子自走	1	1	2	7.1%
車椅子他動	3	20	23	82.1%
合 計	5	23	28	100.0%

6. 月別入所・退所者の状況

区 分	入 所 者		退 所 者	
	男性	女性	男性	女性
4月			1	1
5月			2	2
6月			1	1
7月		3	1	1
8月		1		
9月	1			1
10月		1		
11月			1	
12月		1		
1月	1			1
2月				1
3月				
計	2	8	6	8
合計	8		14	

7. 短期入所利用者の状況

短期入所利用者		
男性	女性	利用日数
	2	21
	2	21
合計		21

8. 入所前の状況

区 分	人員
家 庭	2
養護老人ホーム	
経費老人ホーム	
認知症高齢者グループホーム	
その他の社会福祉施設	2
介護老人保健施設	2
病院・診療所	2
合 計	8

9. 退所後の状況

区 分	人員
家 庭	
養護老人ホーム	
経費老人ホーム	
認知症高齢者グループホーム	
その他の社会福祉施設	
介護老人保健施設	
病院・診療所	6
死 亡	8
合 計	14

第3 運営組織と職員研修

1. 組織体制（令和5年3月31日）

区 分	施設長	総務課	介護課	医務課	嘱託医	合 計
男 性	1	7（5）	9		1（1）	18（6）
女 性		7（7）	10（1）	3		20（8）
合 計	1	14（12）	19（1）	3	1（1）	38（14）

※ うち（ ）は嘱託、臨時職員、パート職員

2. 職員研修

(1) 関係機関の開催する各種研修会に次のとおり参加しました。

研修実施機関	参加職員	延人員
老人福祉施設協議会	施設長、介護員	4人
北海道社会福祉協議会	介護員	1人
その他の団体（オンライン）	施設長、介護員、看護師、事務員	16人

(2) 法人・ふくしあ主催による各種研修会は次のとおり実施しました。

研修名	開催回数	延人員
施設内学習会等	12回	120名（全職員対象）
法人・施設学習会	4回	22名（全職員対象）
人事考課者研修	2回	12名（役職者・職員対象）

第4 事業概要及び実績

事業提供	事業の内容	
介護課・医務課	日常生活支援・介護	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の有する能力を生かして、寝たまの食事・入浴・排泄はしない・させないための介護計画に基づき、日中活動支援や軽運動、レクリエーション行事等を実施し、日中生活動作の維持向上に努めました。
	食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> 食事時間は、朝食8時、昼食12時、夕食18時を基本として、ご利用者の生活習慣や体調及び病状に応じた食事時間と場所に配慮した食事提供を行いました。 ご利用者のアセスメントに基づき本人に適した食事形態を提供するとともに、栄養所要量に基づいた食事量を基本として、利用者の状態により補助食品を活用し栄養補給を行いました。 食事摂取量が少なく経口摂取が困難になってきたご利用者には、低栄養の予防と改善のため、状態に応じた個別メニューと高カロリー栄養補助食品等の併用を行いました。 <p>また、全職種が協力・協働して安全に配慮しながら、経口摂取に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「食」に関する諸行事（おやつ作り・餅つき・グルメ食事会等）の開催は適宜実施し、ご利用者同士の交流が促進されるよう取り組みました。 行事等では、調理をユニットで行うと共に、ご利用者自らが調理・配膳等に携わり、職員と協働による料理・調理を通して楽しみが持てる食事の提供に努めました。 特に、開設記念日、夏祭り、翁花祭、クリスマス会、年末・年始、ひな祭りについては、特別食として多彩なメニューによりご利用者へ提供をしました。

事業提供		事業の内容
介護課 医務課	入浴支援	<ul style="list-style-type: none"> ・桜湯・薔薇湯・ラベンダー湯・ミカン湯等の提供により、季節を感じることができる入浴支援を実施しました。 ・日帰り温泉旅行は新型コロナウイルスの感染症拡大のため自粛しましたが、大浴場での入浴を計画するなど、入浴を通して楽しさと潤いある生活の充実に努めました。 ・各ユニットでのヒバ浴槽では、ゆとりある入浴ができるようにひとり浴（家庭浴）介助のための職員の技術研修を行い、安全に入浴支援ができるように努めました。また、新規入浴機器のシャワー浴槽の導入により、ご利用者の状態に応じた入浴介護を実践しました。
	排泄支援	<ul style="list-style-type: none"> ・下剤に頼らない自然排便を促すケアに引き続き取り組みました。 ・トイレに行けず紙オムツに排泄をしていた新規入所者に対してもトイレで排泄ができるよう支援し、紙オムツから布パンツへ、またより小さなパッドへ移行できるように介護計画に基づき進めました。 ・ご利用者の尊厳や羞恥心への配慮を行うと共に、トイレ介助のための技術研修を行い、安全な排泄介助に努めました。
	行事・レクリエーション等	<ul style="list-style-type: none"> ・湖水祭りやお祭りなどの地域行事は感染症拡大につき中止となりましたが、感染状況に合わせて花見やドライブ等の外出は実施することができました。また、施設内での行事とレクリエーションを実施し、ご利用者を中心とした施設内生活で楽しめる余暇活動に努めました。 ・夏祭り、翁花祭、クリスマス会、新年会、節分等の季節を大切にしたい全体行事は感染症の予防の観点から、ご家族等の参加を見送った開催として、ご利用者同士のふれあいや交流会として開催しました。 ・旅行や外食、買い物、ドライブなどの施設外活動も、感染症拡大に伴い、施設内でご利用者のニーズに応じたサービスの提供を進めました。
	利用者の健康管理等	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医の定期診察及び適時のバイタル測定、体温は1日3回の検温を実施することで、ご利用者の健康状態の把握と嘱託医の指示の下で病状に応じて専門機関への受診・治療を行いました。 ・毎日の水分摂取量と排泄状況をチェックし、脱水の予防と排泄パターンの把握に努め、適切な排泄方法や手段を検討の上、個別ケアに取り組みました。 ・新型コロナウイルスワクチン接種とインフルエンザワクチン接種や、看護師による個人用防護具（ppe）の基礎知識の勉強会を適宜開催し感染予防対策に努めました。 ・感染症（ノロウイルス・新型コロナウイルス等）が発生しないよう、食事前のアルコールによる手指消毒、マスクの着用、通院後の全更衣、各ユニットに噴霧器を準備し居室・ホールの加湿や清掃・消毒に努め、職員への予防・対策の研修会を実施するとともに、部署間の連携を持って感染症対策を進めました。

	家族等との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり・翁花祭はご家族等とは、感染症予防の観点から接触を控えた施設内のみでの開催とし、ブログや家族への手紙等で情報を提供しました。 ・家族会行事の環境美化事業は、感染症対策を講じてご利用者との交流を控えた内容で実施をしました。 ・ご家族等の面会は新型コロナの感染状況を見極めた上で、ベランダ、ガラス・窓越しとオンラインを活用した面会を実施しました。また、担当者から定期的に手紙を発行して近況の様子と活動状況の情報提供に努めました。
	ターミナルケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル期にあるご利用者やご家族等に対し、嘱託医を交えた面談のうえ、ご利用者に配慮した看取り支援をご家族とともに取り組みました。また、令和4年度は8名のご利用者の看取りを行いました。
	事業提供	事業の内容
介護課・医務課	介護支援計画による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の生活習慣や心身の状況等を踏まえたケアプランを策定の上、適時ケースカンファレンスを実施し生活の質の向上に努めました。
	防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を年3回実施し、通報訓練も同時に行い防災対策に努めました。 ・災害発生時における食料の備蓄やその他物品の充足を図りました。また、災害時を想定した非常食の提供訓練を行いました。 ・インバーター発電機3台を使用しての災害訓練を実施しました。
	地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の小中学校との交流や社会学習の体験場としての施設活用については、新型コロナの蔓延・感染予防対策の上から参加と訪問受け入れは、控えました。
	利用契約	<ul style="list-style-type: none"> ・入所に際しては、ご家族等（契約者）に対し施設サービスの提供内容や利用料などについて説明の上、利用契約締結を行いました。 ・苦情受付担当者等を配置し、サービス内容の苦情等に対応する体制で対応しました。令和4年度は特に苦情の受付はありませんでした。
	研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等が開催する研修会はオンラインを中心に参加しました。看護師による定期的な施設内学習会及びトランス勉強会を開催し、専門知識と介護技術の向上に努めました。 ・その他の研修については、感染症拡大につき一部の参加となり、施設内での資質向上に努めました。
	会議・委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・定例職員会議、食事サービス会議をはじめ役職者会議、ユニット会議、ケース会議、感染対策委員会、安全対策・虐待対策委員会等を定期に開催し、職員の連携・資質向上と個別ケアの充実等に努めました。 ・食事・排泄・入浴等の各種委員会を開催し、統一したケア業務の遂行と個別援助の取り組みを推進しました。

総務課	施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者50名定員に伴う職員配置基準が満たされない状況から止むを得ず令和4年7月1日をもって利用定員を50名から30名へ減員・変更を行いました。 ・法人は、特別養護老人ホームの経営を抜本的に見直すために南富良野大乘会高齢者事業改革推進協議会を設置し、早急な見直しを図ることにしました。
	財務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・介護請求システム及び会計・給与管理システムによる効率的に事務処理を推進しました。 ・経費の節約に努めると共に、効率的な物品の購入や各事業経費の節減を図り計画的に予算執行を進めました。 ・介護処遇改善費、特定処遇改善費及びベースアップ加算を適切に取得し職員の処遇向上に努めました。
	設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度の公益財団法人 JKA の福祉車両整備補助金の交付を受けて、福祉車両の整備配置を完了しました。また、配車16年を経過した福祉車両1台は、廃車手続きを完了しました。
	職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の定期健康診断及び生活習慣病予防検診を実施するとともに、新型コロナウイルス感染予防研修会の開催と職員会議等での基本的な感染要対策の手洗い・手指消毒についての周知徹底を図り、職員自らの健康管理に対する意識の向上に努めました。特に、法人・全事業所の新型コロナウイルス対策委員会及び、施設内感染症対策委員会を随時開催し、職員の感染予防意識の向上を促進しました。
	交通安全の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での交通安全運転・飲酒運転等の禁止の注意喚起を図る共に、セーフティラリーに参加することで交通安全に対する意識の向上に努めました。
	広報関係	<p>定期的に広報誌を発行するとともに、ホームページ用に広報誌も掲載しました。</p> <p>また、施設行事等の様子を随時ブログで開示を行いました。</p>

第5 年間事業実績

令和4年度の年間事業実績は別紙1のとおりです。